

# 後発医薬品の使用割合の状況（東京都）

## ①後発医薬品の数量シェア

### ■ NDBデータ：79.8% (令和6年3月実績)

- ・対前年同月比+1.8ポイント。上昇傾向にあるが、目標「数量ベース80%以上」には、令和5年度末時点で不達。全国平均は82.9%

※ 都の医療費適正化計画の実績評価は、NDBデータ・毎年度3月期実績による

### ■ 調剤医療費：88.1% (令和7年3月実績)

- ・対前年同月比+6.2ポイント。上昇傾向が続く。全国平均は90.6%
- ・なお、「医療機関別」「保険者種別」にみると、それぞれ使用割合に差はあるが、平成29年度から令和6年度までの増加率は、全国の増加率を概ね上回っている。

## ②後発医薬品の金額シェア：48.7% (NDBデータ・令和5年度実績)

- ・全国平均は53.6%
- ・改正医療費適正化計画基本方針における新目標（副次目標②）「65%以上」

## ③バイオ後続品の数量シェア：36.8% (NDBデータ・令和5年度実績)

- ・対前年度比+3.9ポイント。全国平均は39.9%
- ・改正医療費適正化計画基本方針における新目標（副次目標①）の実績値でないことに注意

※ ①及び②は、バイオ後続品を含む

## ＜参考＞後発医薬品使用割合（数量シェア）の実績把握方法

- 一般に、後発医薬品の使用割合（数量シェア）の実績は、「薬価調査」「NDBデータ」「最近の調剤医療費の動向」の3パターンにより把握され、用途に応じて使い分けられている。
- それぞれ、集計方法や公表データの作成時点などが異なることに注意する必要がある。

把握方法	集計データ	集計頻度	都の把握		都道府県別データの有無	用途
			時期	方法		
薬価調査	保険医療機関及び保険薬局に医薬品を販売する医薬品卸売販売業者の営業所等の全数を対象とした販売数量の調査回答	年1回	毎年3月 ※前年9月の調査結果	厚労省HP公表	×	【国】実績値の把握
NDBデータ	医科・歯科・調剤レセプトをもとに集計した数量	年1回	毎年3月 ※前年3月分	厚労省からデータ提供	○	【国】都道府県別実績値の把握 【都】医適計画実績値の把握
最近の調剤医療費の動向	調剤レセプトをもとに集計した調剤数量	毎月	毎月 ※4～5か月前の調剤分	厚労省HP公表	○	【都】直近の状況の把握

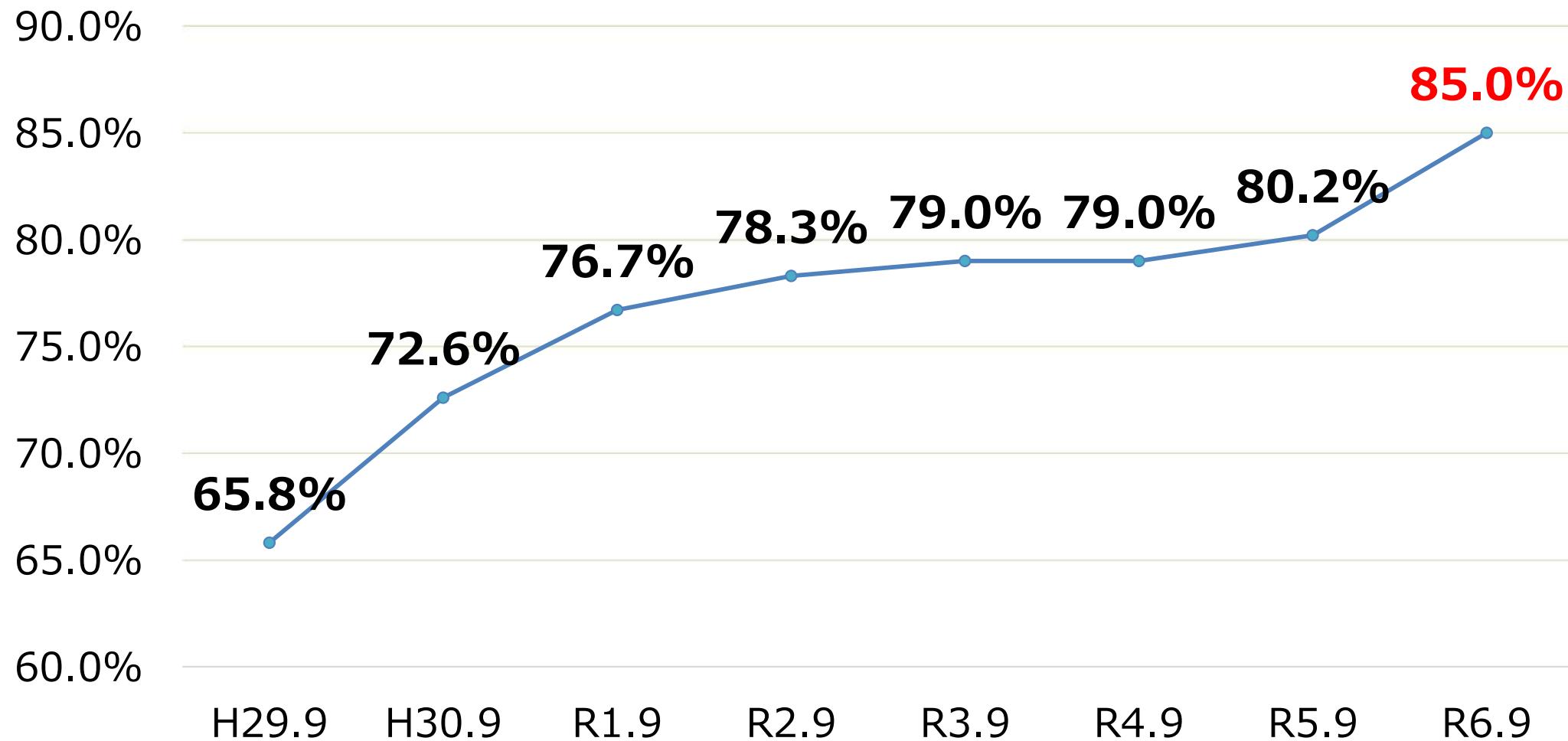
### 算出方法

後発医薬品の数量

後発医薬品のある先発医薬品の数量 + 後発医薬品の数量

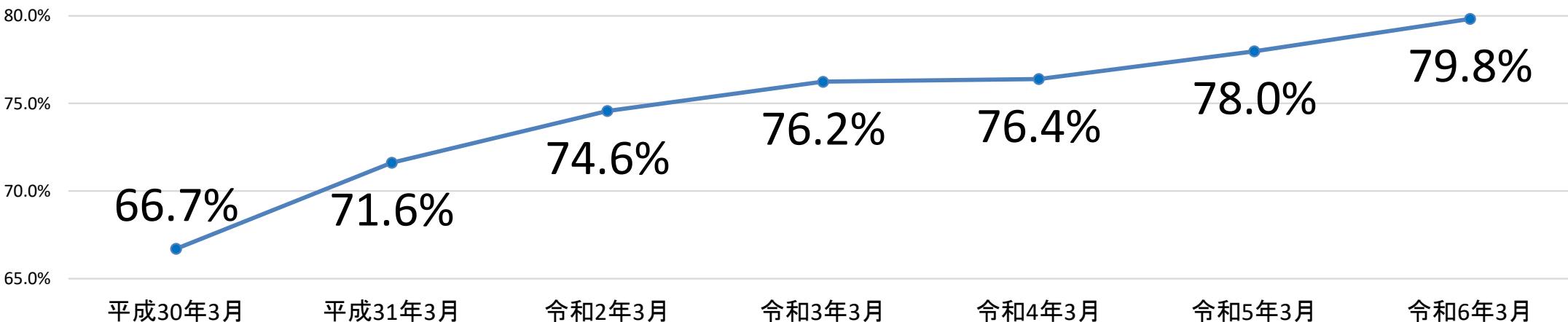
## 【全国】後発医薬品の使用割合の推移（数量シェア・薬価調査）

全国の後発医薬品の使用割合（数量シェア）を薬価調査からみると、令和6年9月時点で**85.0%**であった。※なお、都道府県別の使用割合については、NDBデータで実績を把握している。



# ①後発医薬品の使用割合（数量シェア・NDBデータ）の推移

## 1 東京都における使用割合の推移



## 2 都道府県別使用割合（令和6年3月期実績）

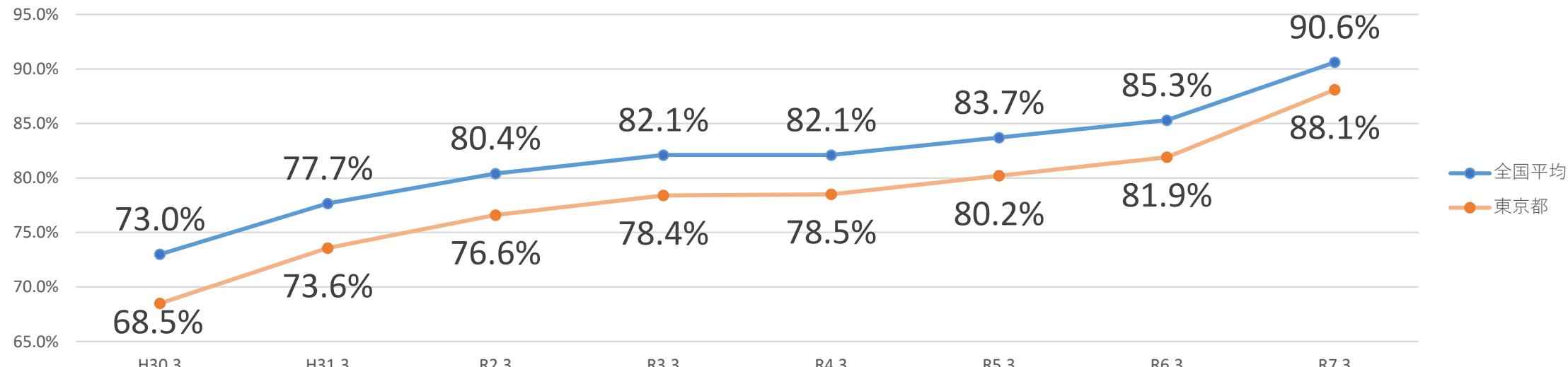


出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2023年度診療分NDBデータ）」

※実績値は各年度3月期のもの。レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。

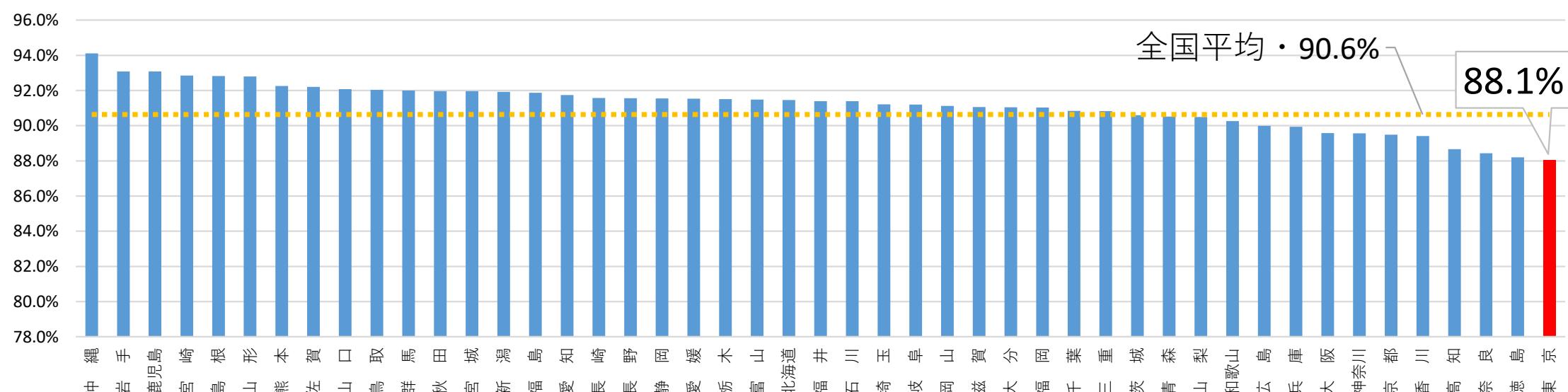
# ①後発医薬品の使用割合（数量シェア・調剤医療費）の推移

## 1 東京都における使用割合の推移



## 2 都道府県分使用割合（令和7年3月期実績）

全国平均 90.6% 東京都 88.1% ※全国順位47位



出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」令和7年3月号

### 3 区市町村（薬局所在地）別使用割合（各年度3月期実績）

区市町村	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
千代田区	64.9%	69.0%	72.3%	74.2%	74.9%	77.0%	78.7%	84.8%
中央区	63.3%	67.6%	70.8%	72.3%	72.4%	75.4%	77.6%	84.1%
港区	66.8%	70.9%	73.1%	74.6%	74.1%	75.4%	77.0%	83.1%
新宿区	60.8%	66.1%	69.5%	73.0%	73.6%	76.3%	78.2%	85.3%
文京区	63.1%	68.8%	72.9%	74.3%	73.6%	75.2%	77.3%	84.6%
台東区	69.4%	74.0%	77.2%	78.5%	78.2%	79.9%	82.2%	87.3%
墨田区	67.6%	73.5%	76.9%	78.9%	78.8%	80.7%	82.6%	88.2%
江東区	67.7%	73.4%	76.3%	78.5%	78.6%	80.2%	82.3%	88.4%
品川区	69.1%	73.3%	76.0%	77.3%	77.6%	79.2%	80.9%	86.9%
目黒区	63.4%	68.4%	71.4%	72.7%	73.0%	75.3%	77.5%	84.1%
大田区	66.1%	71.7%	75.0%	77.5%	77.8%	79.8%	81.7%	88.2%
世田谷区	64.2%	68.7%	72.1%	73.9%	73.6%	75.8%	77.8%	85.2%
渋谷区	62.8%	67.2%	70.9%	72.4%	73.1%	74.9%	77.8%	85.3%
中野区	64.2%	69.8%	73.5%	75.4%	75.7%	77.5%	79.8%	87.1%
杉並区	62.4%	67.6%	70.7%	72.9%	73.3%	75.3%	77.5%	84.9%
豊島区	69.3%	74.9%	77.3%	78.5%	78.2%	80.7%	82.0%	87.4%
北区	68.7%	74.6%	77.9%	79.8%	79.8%	81.5%	83.6%	89.2%
荒川区	65.1%	70.5%	74.2%	75.9%	76.3%	78.0%	80.2%	86.7%
板橋区	68.9%	74.9%	78.2%	79.9%	79.8%	81.0%	82.3%	88.6%
練馬区	68.3%	73.7%	77.0%	78.9%	79.1%	80.1%	81.9%	88.4%
足立区	72.4%	78.1%	81.1%	82.3%	82.4%	83.5%	85.3%	91.0%
葛飾区	72.5%	76.8%	79.7%	81.4%	81.9%	83.7%	85.0%	90.1%
江戸川区	72.5%	78.3%	80.9%	82.5%	83.4%	84.7%	86.0%	90.8%

区市町村	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
八王子市	72.2%	76.4%	79.2%	80.6%	80.7%	82.3%	83.8%	89.3%
立川市	76.8%	81.3%	83.2%	84.0%	83.7%	84.8%	85.7%	90.1%
武蔵野市	67.5%	71.5%	74.8%	76.9%	76.5%	77.5%	79.4%	85.4%
三鷹市	64.1%	69.5%	72.9%	75.6%	76.1%	78.1%	80.0%	87.9%
青梅市	71.3%	77.1%	80.4%	83.2%	83.4%	84.9%	86.2%	90.9%
府中市	70.0%	75.9%	78.5%	79.5%	80.1%	81.5%	82.9%	90.3%
昭島市	71.1%	76.2%	79.3%	81.5%	82.1%	83.2%	84.4%	90.7%
調布市	66.4%	71.1%	74.1%	75.5%	76.4%	79.1%	80.9%	88.4%
町田市	73.4%	78.6%	81.3%	82.3%	82.0%	83.5%	85.0%	90.3%
小金井市	68.5%	72.4%	76.0%	78.7%	79.4%	80.4%	82.4%	88.9%
小平市	72.7%	77.3%	79.8%	81.2%	80.9%	82.3%	84.0%	90.1%
日野市	76.7%	81.3%	83.9%	85.1%	85.5%	86.6%	87.4%	91.3%
東村山市	70.1%	75.5%	78.8%	80.9%	80.7%	82.2%	84.8%	90.9%
国分寺市	65.6%	69.6%	73.3%	75.8%	76.3%	78.3%	80.0%	87.6%
国立市	65.8%	69.5%	72.2%	73.2%	73.6%	75.5%	78.0%	85.1%
福生市	79.7%	83.3%	85.2%	86.8%	85.4%	87.2%	88.6%	92.0%
狛江市	68.6%	72.6%	76.3%	78.6%	78.2%	79.8%	80.8%	87.6%
東大和市	80.4%	83.9%	85.5%	86.1%	86.3%	87.5%	88.5%	92.4%
清瀬市	74.4%	80.0%	82.3%	83.4%	82.8%	83.8%	85.1%	90.9%
東久留米市	74.4%	79.1%	81.3%	82.6%	82.2%	83.1%	85.1%	89.8%
武蔵村山市	76.3%	81.4%	83.8%	85.3%	85.5%	86.5%	88.1%	92.1%
多摩市	71.9%	76.9%	79.3%	80.9%	80.7%	82.1%	83.5%	90.0%
稲城市	70.4%	75.7%	79.5%	80.2%	79.6%	80.5%	82.9%	89.2%
羽村市	68.2%	74.7%	77.5%	78.6%	78.6%	81.4%	83.5%	91.3%
あきる野市	76.5%	80.8%	83.5%	85.1%	85.9%	87.9%	89.1%	93.3%
西東京市	73.7%	78.7%	81.7%	83.0%	83.4%	84.5%	85.6%	90.1%
瑞穂町	66.5%	71.4%	77.7%	80.0%	81.6%	85.9%	87.2%	94.3%
日の出町	83.8%	86.3%	87.5%	88.7%	89.7%	90.8%	90.8%	93.7%
東京都計	68.5%	73.6%	76.6%	78.4%	78.5%	80.2%	81.9%	88.1%

※対象年月に保険請求のあった薬局の所在する区市町村のみ掲載  
出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」

## 4 処方せん発行元医療機関別使用割合（各年度3月期実績）

### 東京都

区分	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	平成29年度 →令和6年度
総数	68.5%	73.6%	76.6%	78.4%	78.5%	80.2%	81.9%	88.1%	19.6pt
医科（病院）	68.8%	74.2%	77.4%	79.2%	79.0%	80.6%	81.9%	87.6%	18.8pt
大学病院	62.3%	67.8%	71.5%	73.7%	73.3%	75.1%	76.5%	84.0%	21.7pt
公的病院	69.9%	74.8%	77.9%	79.4%	79.0%	80.7%	81.6%	87.2%	17.3pt
法人病院	71.4%	76.9%	80.0%	81.7%	81.4%	83.1%	84.4%	89.3%	17.9pt
個人病院	74.5%	72.1%	76.0%	78.2%	77.6%	77.6%	84.0%	89.6%	15.1pt
【再掲】200床未満	71.6%	76.9%	80.0%	81.7%	81.8%	83.3%	84.8%	89.5%	17.9pt
【再掲】200床以上	67.6%	72.9%	76.2%	78.1%	77.6%	79.4%	80.5%	86.6%	19.0pt
医科（診療所）	68.4%	73.3%	76.2%	78.0%	78.4%	80.0%	81.9%	88.2%	19.8pt
歯科（病院・診療所）	73.7%	78.5%	81.9%	83.8%	84.5%	85.1%	83.3%	90.5%	16.8pt

### 【参考】全国

区分	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	平成29年度 →令和6年度
総数	73.0%	77.7%	80.4%	82.1%	82.1%	83.7%	85.3%	90.6%	17.6pt
医科（病院）	73.3%	78.2%	81.0%	82.6%	82.3%	83.9%	85.2%	90.5%	17.2pt
大学病院	64.4%	69.4%	72.7%	75.2%	74.4%	76.4%	77.9%	85.9%	21.5pt
公的病院	74.5%	79.1%	81.8%	83.3%	82.8%	84.3%	85.7%	90.6%	16.1pt
法人病院	74.3%	79.3%	82.2%	83.7%	83.5%	85.0%	86.4%	91.3%	17.0pt
個人病院	71.9%	75.8%	79.1%	81.4%	81.4%	82.1%	84.6%	90.4%	18.5pt
【再掲】200床未満	73.8%	78.9%	81.9%	83.5%	83.6%	85.1%	86.6%	91.4%	17.6pt
【再掲】200床以上	73.0%	77.6%	80.4%	82.0%	81.3%	82.9%	84.2%	89.7%	16.7pt
医科（診療所）	72.8%	77.4%	80.1%	81.9%	82.0%	83.7%	85.3%	90.7%	17.9pt
歯科（病院・診療所）	79.3%	83.9%	86.4%	88.1%	88.4%	88.8%	87.4%	93.6%	14.3pt

※保険薬局の所在する都道府県ごとに集計

出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」

## 5 保険者種別使用割合（各年度3月期実績）

### 東京都

保険者	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	平成29年度 →令和6年度
総数	68.5%	73.6%	76.6%	78.4%	78.5%	80.2%	81.9%	88.1%	19.6pt
協会一般	70.3%	74.5%	77.5%	79.2%	79.3%	80.9%	82.7%	88.7%	18.4pt
共済組合	68.9%	73.2%	76.6%	78.4%	78.3%	80.1%	82.2%	89.0%	20.1pt
健保組合	69.9%	74.1%	77.2%	78.8%	79.1%	80.5%	82.6%	89.2%	19.3pt
市町村国保	68.4%	72.7%	75.7%	77.6%	77.6%	79.3%	80.9%	87.3%	18.9pt
国保組合	67.9%	72.0%	75.2%	76.9%	77.4%	78.9%	80.7%	87.5%	19.6pt
後期高齢	65.5%	70.4%	73.9%	76.0%	76.5%	78.4%	80.0%	86.0%	20.5pt

### 【参考】全国

保険者	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	平成29年度 →令和6年度
総数	73.0%	77.7%	80.4%	82.1%	82.1%	83.7%	85.3%	90.6%	17.6pt
協会一般	75.0%	78.9%	81.6%	83.1%	82.9%	84.4%	86.1%	91.2%	16.2pt
共済組合	73.7%	77.6%	80.5%	82.1%	81.8%	83.6%	85.3%	91.2%	17.5pt
健保組合	74.1%	78.0%	80.7%	82.3%	82.2%	83.7%	85.5%	91.2%	17.1pt
市町村国保	73.7%	77.8%	80.5%	82.2%	82.0%	83.6%	85.0%	90.4%	16.7pt
国保組合	72.0%	75.8%	78.7%	80.4%	80.5%	82.0%	83.7%	89.5%	17.5pt
後期高齢	70.7%	75.4%	78.6%	80.5%	80.9%	82.7%	84.3%	89.8%	19.1pt

※保険薬局の所在する都道府県ごとに集計

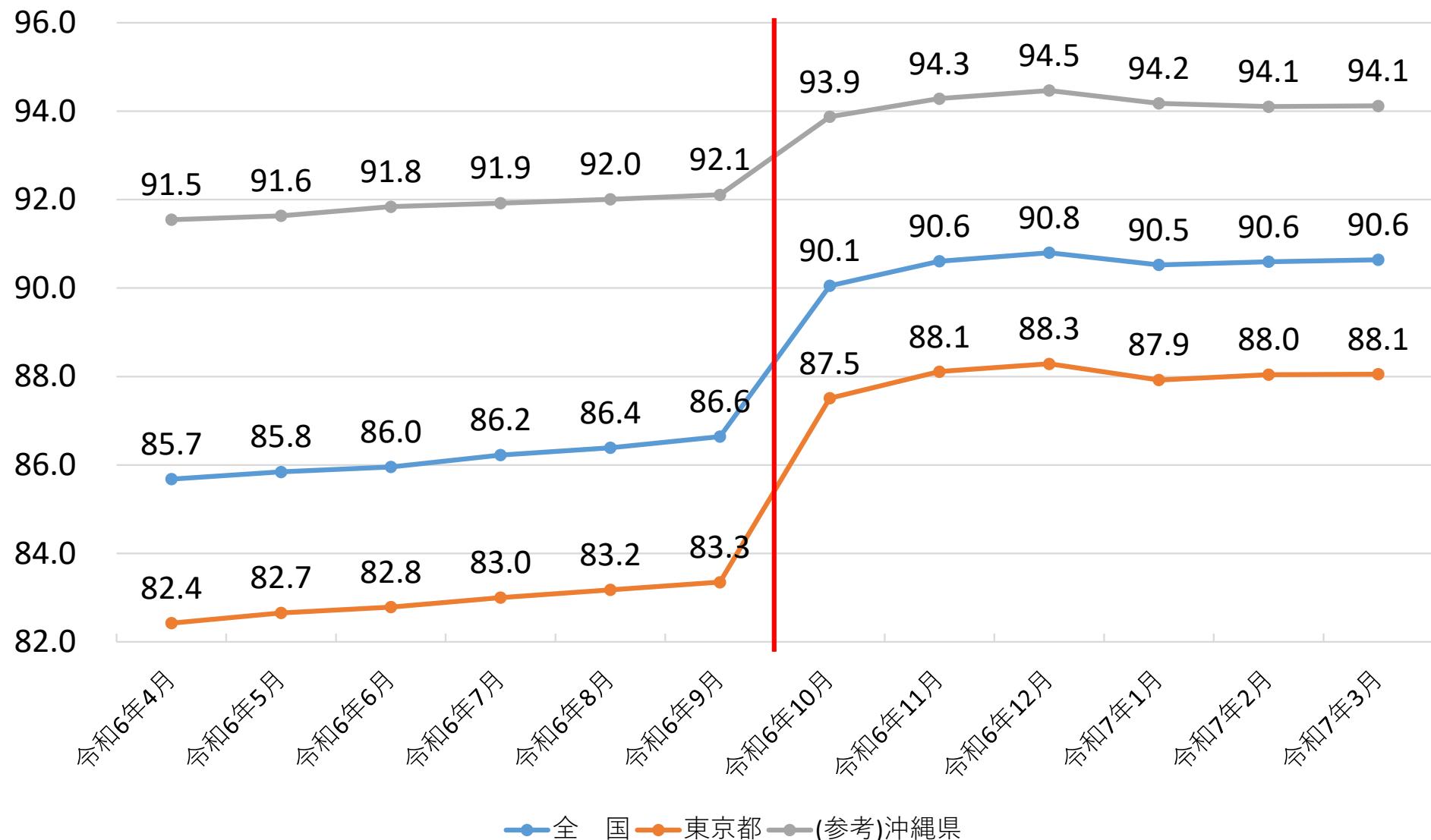
出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」

○地域や医療機関、保険種別などにより使用割合に差がある。

○平成29年度から令和6年度までの都における使用割合の増加幅は、全国の使用割合の増加幅を上回っている。

# ＜参考＞後発医薬品の使用割合における選定療養導入の影響

## 1 後発医薬品の使用割合（数量シェア）の選定療養の導入前後比較 -月別-



✓ 後発医薬品の使用割合（数量シェア）を選定療養の導入前後で比較すると、導入後に全国的に大幅に上昇している。

## ＜参考＞後発医薬品の使用割合における選定療養導入の影響

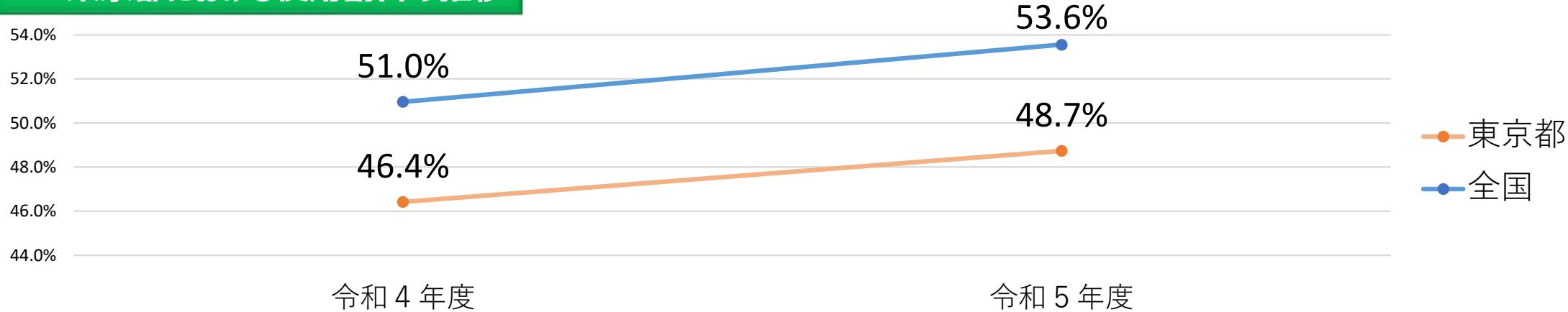
### 2 年齢階級別にみた後発医薬品の使用割合（数量シェア）の選定療養の導入前後比較

		令和5年10月	～	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和7年7月
全国	全年齢	84.7%	～	86.4%	86.6%	90.1%	91.3%
うち	0歳以上 5歳未満	84.6%	～	87.2%	87.6%	92.0%	93.5%
	5歳以上 10歳未満	81.0%	～	82.9%	83.8%	89.7%	90.9%
	10歳以上 15歳未満	82.1%	～	81.8%	83.4%	90.1%	90.4%
	15歳以上 20歳未満	83.4%	～	83.1%	84.5%	90.0%	90.1%
	65歳以上 70歳未満	86.2%	～	87.7%	87.9%	90.9%	92.0%
	70歳以上 75歳未満	85.4%	～	87.1%	87.3%	90.2%	91.5%
	75歳以上 80歳未満	83.9%	～	85.7%	86.0%	89.1%	90.6%
	80歳以上 85歳未満	83.0%	～	84.9%	85.1%	88.7%	90.4%
	85歳以上 90歳未満	83.8%	～	85.6%	85.8%	89.2%	90.8%
	90歳以上 95歳未満	85.4%	～	87.1%	87.3%	90.3%	91.8%
	95歳以上 100歳未満	87.2%	～	88.7%	89.0%	91.6%	92.9%
	100歳以上	89.0%	～	90.3%	90.4%	92.6%	93.8%
東京都	全年齢	81.6%	～	83.2%	83.3%	87.5%	88.8%
沖縄県	全年齢	90.9%	～	92.0%	92.1%	93.9%	94.6%

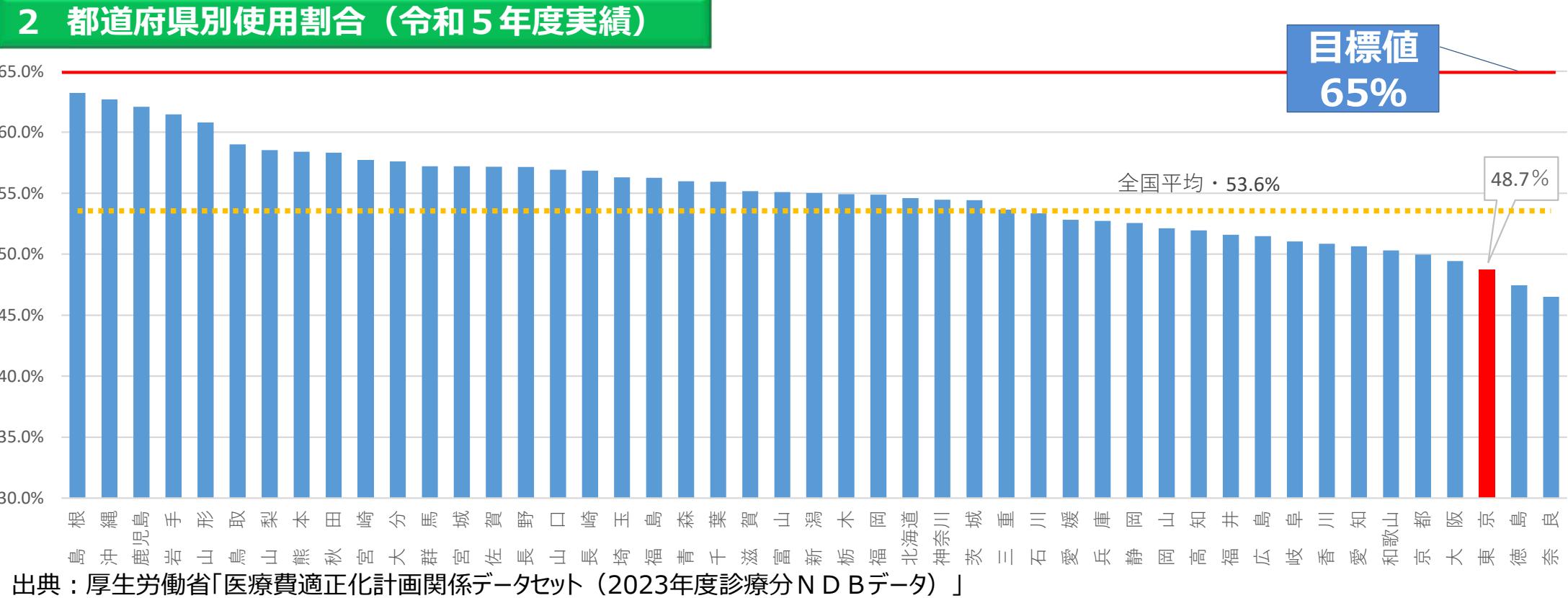
- ✓ いずれの年齢階級においても、選定療養の導入後、後発医薬品の使用割合は大幅に増加している。
- ✓ また、比較的使用割合が低かった「5歳以上10歳未満」、「10歳以上15歳未満」の年齢階級においても、選定療養の導入後は全年齢と同程度の使用割合まで上昇している。

## ②後発医薬品の使用割合（金額シェア・NDBデータ）の推移

### 1 東京都における使用割合の推移



### 2 都道府県別使用割合（令和5年度実績）

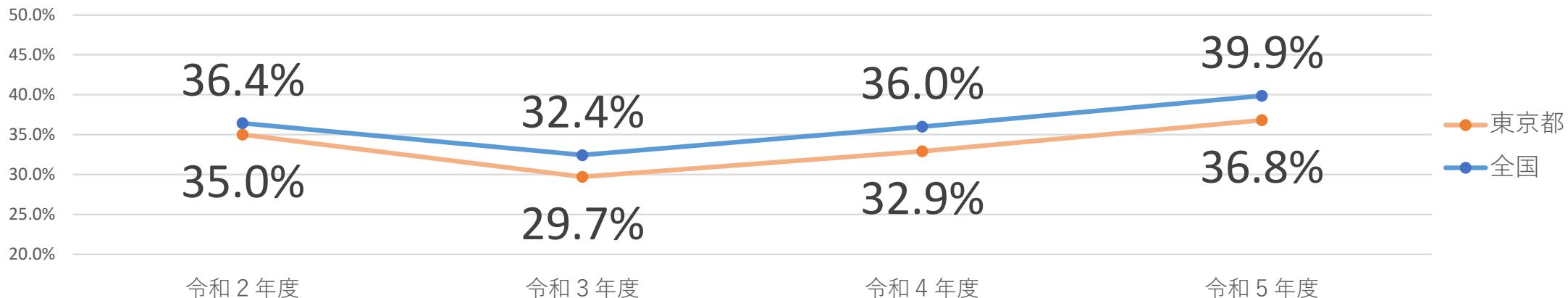


出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2023年度診療分NDBデータ）」

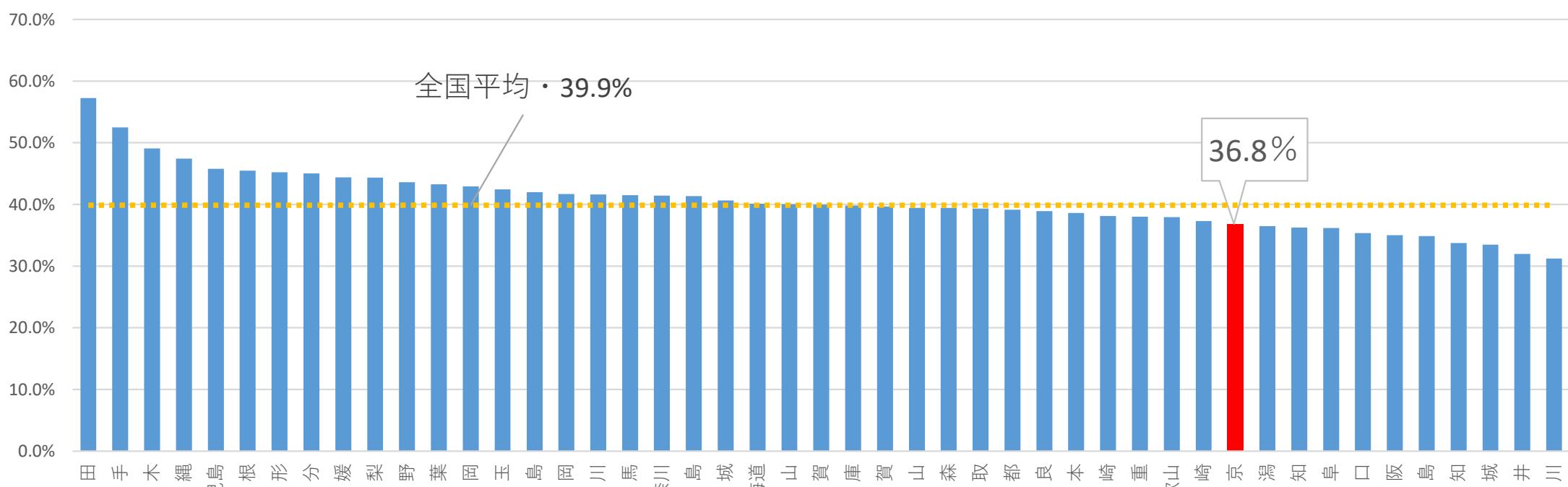
※ レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。なお、バイオ後継品含む。

### ③バイオ後続品の使用割合（数量シェア・NDBデータ）の推移

#### 1 東京都における使用割合の推移



#### 2 都道府県別使用割合（令和5年度実績）



出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2023年度診療分NDBデータ）」

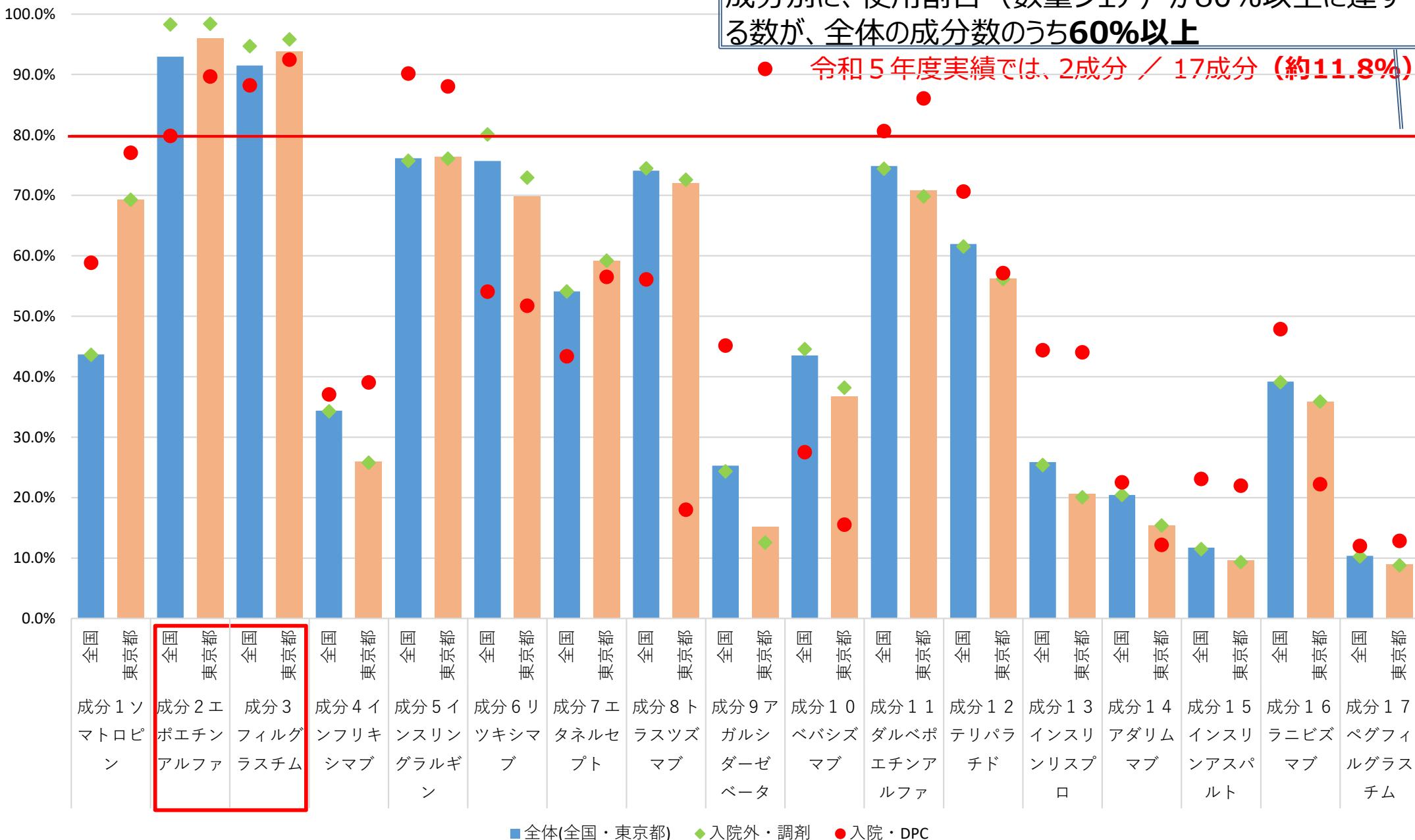
※ レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。

### 3 成分別使用割合（令和5年度実績）

#### 目標値

成分別に、使用割合（数量シェア）が80%以上に達する数が、全体の成分数のうち**60%以上**

● 令和5年度実績では、2成分／17成分（約11.8%）



出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2023年度診療分NDBデータ）」

※ レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。